



# りすぐみだより

福留夕佳(文責)  
東祐里佳

## 子どもたちのあそび

子どもたちの体と心の成長とともに  
いろいろなあそびの姿が見られるよう  
なっています。



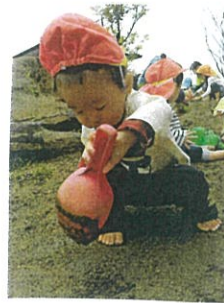
### 子どもの自立の最初のステップとなる「一人遊び」

いろいろなものを見て「よしよし」自分で物をつかみ、手や口で感触を確かめることや、安心できる環境の中でゆったりと遊び、過ぎてきたり0歳の時期。よしよし成長していくにつれ、自分の周りの出来事に興味が出てきて行動範囲も広がり、気に入る物があるとその物へとまっしぐら裏庭に出ると土や砂をぐちゃぐちゃと掘ったり石を指先でつまんだり、手の平につけて土や砂をじつと見つめたり…。またスコップで砂をすくっては容器の中に入れて、石を集め入れて同じ遊びを何度もくり返し繰り返し遊ぶ姿が見られます。

一人遊びをしている時の表情は真剣だ

子どもたちの頭の中ではいろいろなイメージが広がり自由な自分の世界へ集中しているのだろうと感ぜられます。子どもたち自身がおもしろいなと

思い取り組んでいる遊びで自分の中に浮かんでくるアイデアを試している時は脳も活性化します。この時の体験したことすべてが知識・経験として吸収される時間となるので一人遊びが十分できるように静かに見守ることも大切にしています。



### 同じ場所で同じような遊びをそれぞれが楽しむ「並行遊び」

「一人遊び」をしていく中で「よしよし」周りのお友だちがしていることに興味が出てきてじつと眺めて見ていたり、お友だちのマネをしてみたりとお友だちが何をしているのかを見ながら自分も同じ遊びをしてみる「並行遊び」の姿も見られるようになってきました。裏庭で1人のお友だちがまごごあそびを始めるとそれを見てお友だちも「私も!」「僕も!」と「よしよし」集まり、いつの間にか4~5人のお友だちが同じ場所で遊んでいたりと、ミルク缶を一緒に積み上げ



倒してはまた積み上げて…をくり返し遊んでいます。「自分」と「他人」がいるということを「よしよし」認識し始め、また自分で遊びを広げていくことができるようになっていきます。



### 目の前にないものをイメージする力がはぐまれる「見立て遊び」

お友だちの中には石を耳に当てて「もしもし?」と電話のようにお話したり、木片を赤ちゃんに見立ててあやしたり、また丸太を乗り物に見立ててお友だちと一緒にまたがって遊んだり「見立て遊び」をする姿もあります。保育士が「何してるの?」「どこに行くの?」など問いかけると「赤ちゃん、よしよし(してるの)」「ケーキつくるの!」と言葉が返してくれることも多く、遊びの世界が豊かになっているのを感じます。



遊びを見守る時も保育士と一緒に遊び、楽しい雰囲気を作りながら、人と関わること、共感することの心地良さを感ぜられるようにしていきたいと思ひます。



## 手洗い

～きれいにすることの心地良さを感ぜて～

戸外から帰った後、排泄後や給食・おやつ前に手洗いをしています。「手にバイキンさんがいっぱいついてるから石けんで洗おうね」「給食(おやつ)を食べるから手を洗ってね」とその都度声をかけると手洗い場に行き手を洗おうとする姿が見られるようになってきて、蛇口の開け閉めが難しいお友だちは保育士と一緒に手を添え「ゴシゴシしようね」「気持ちいいね」と言葉をかけながら



洗い、ペーパータオルで拭いてゴミ箱に捨てるまでを一緒に取り組んでいます。

1才ぐみの大きいお友だちは自分で水を出し、石けんを手に取って洗い流し拭くことができるようになってきていますが、泡が残っているり流しきれていないことや袖が濡れてしまうことがあるので、そばで見守りながら「お袖 よいしょてね」「泡がまだついているからもう少しゴシゴシしようかな」と言葉をかけています。

次のお友だちが順番を待っていると止めに水をもう一度出してあげたり、お友だちが手洗いするのを待ってペーパータオルを渡してあげるなどの優しい姿も見られます。

これから寒さが増し、体調を崩しやすくなる時期でもあるので、手を洗うことの気持ち良さを感じながら、1つ1つ丁寧に言葉かけや援助をし、清潔に過ごせるよう、手洗いを行っていきなさいと思います。



おねがい



朝夕と日中の温度差があり、  
日中は気温が高くなることも多いので、  
気温に合わせて衣服の調節を行っています。  
ロッカー・カゴの中に 半袖・薄手の長袖 を入れておいて  
いただくよう お願いします。  
また、体拭きタオルも 4〜5枚ほど タグめにお持ちいただくよう  
お願いします。

